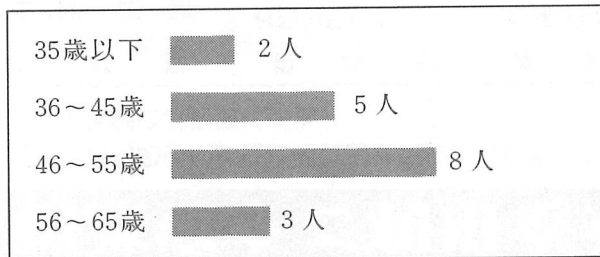


表1 要精検者数等

区分	要精検者	要精検率	精検受診者
乳腺	18人	6.9%	14人
甲状腺	13	5.0	4
その他	5	1.9	3

グラフ1 要精検者年齢分布 (乳腺18人)



- 東陽病院のX線軟線撮影、超音波、吸引細胞診、血液検査等の精検者内容
- 乳腺症 5人
  - 陥凹乳頭 5人
  - 乳頭分泌異常 2人
  - 乳癌術後(10~13年経過) 2人
  - 乳癌 1人
  - 線維腺腫 1人
  - 乳腺炎(授乳期) 1人
  - 腫瘍摘出術既往者 1人
  - 甲状腺精検内容 7人
  - 甲状腺腫 1人
  - 結節性甲状腺腫 1人
  - 甲状腺癌摘出術後 1人

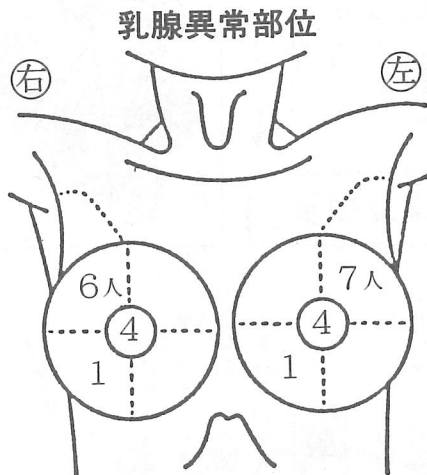
昨年11月10日と13日に、乳腺・甲状腺の一次検診が行われました。横芝町検診対象人口(30才以上の女性)は4039人、検診受診者総数262人、受診率6.5%で組合管内受診率は表2のとおりです。また、精密検診の結果は次のとおりです。

# 乳腺・甲状腺 検診結果まとめ



表2 組合管内受診率

町名	対象者数	受診者数	受診率
横芝町	4,039人	262人	6.5%
光町	3,051	399	13.1
野栄町	3,252	263	8.1



(精検受診者と異常部位の人数は一致しません)

側上外側領域及び乳頭部異常

(東陽病院 前田 記)

橋本氏病摘出術後 異常なし 3人



受診率は6.5%と3町でも一番低く、対象者の1割にも達しませんでした。

特に癌発見率の高い初回受診者と、40代の癌好発年齢者及び60才以上の受診者が少ないため、今後これらの人に対する受診啓蒙活動が必要とされます。

部位別では、図のように両側上外側領域及び乳頭部異常が多く、乳癌自己検診法を特にこの部位に注意して月に1回は行ってください。今回の検診から1人の乳癌患者が見つかりましたが、早期発見、早期治療により術後の経過も良好です。

乳癌は年々増加しています。早期発見、早期治療を行えば、乳癌・甲状腺癌は非常に予後良好です。35歳以上の方、今年はずいぶん検診を受けてください。「異常があったらすぐ病院へ、異常がなくても検診を」を合言葉に定期的な受診しましょう。